



おおいし かずひろ
大石 和博

職名・職位 教授

担当科目 ミクロ経済学Ⅰ，マクロ経済学Ⅰ、環境経済学ほか

学 位

1996年3月 修士(経済学)(中央大学)

1994年3月 学士(法学)(近畿大学)

研究分野 経済政策関連

研究キーワード 環境経済学

研究業績

著書	1999年11月	『現代財政の研究』(共著・中央大学出版部)
論文	2007年3月	「リアルオプション・アプローチによる地域観光開発の意思決定」『宇都宮共和大学論叢』第8号、単著。
	2012年3月	「進化的意思決定による再生可能資源の利用と社会規範の効果」『宇都宮共和大学論叢』第13号、単著。
	2012年3月	「環境政策の時間非整合性と企業の模倣学習」『宇都宮共和大学論叢』第13号、単著。
	2013年3月	「自然観光における観光事業者の自主的環境取り組みと技術進歩の効果」『宇都宮共和大学論叢』第14号、単著。
	2014年3月	「進化的枠組みにおける再生可能資源の持続的利用と生態系サービスへの支払い制度の効果」『宇都宮共和大学論叢』第15号、単著。
	2015年3月	「生物資源の利用と税の所得分配効果」『宇都宮共和大学論叢』第16号、単著。
	2016年3月	「進化的枠組みにおける環境ラベルの長期的効果」『宇都宮共和大学シティライフ学論叢』第17号、単著。
	2018年3月	「進化的枠組みにおける自主的環境取り組みと社会的圧力の効果」『宇都宮共和大学シティライフ学論叢』第19号、単著。
	2019年3月	「進化的枠組みにおける持続可能な生物資源管理と経済的手段の有効性」『宇都宮共和大学シティライフ学論叢』第20号、単著。
	2020年3月	「進化的枠組みにおける水資源管理の可能性」『宇都宮共和大学シティライフ学研究』第21号、単著。
	2023年3月	「環境政策における経済的手段と協力的行動の進化」『宇都宮共和大学シティライフ学研究』第24号、単著。

社会的活動

	2011年4月	那須塩原市廃棄物減量等推進審議会委員(2013年3月まで)
	2015年4月	とちぎ産業振興ネットワーク推進会議委員(2017年3月まで)
	2015年4月	うつのみや次世代産業イノベーション推進会議委員(2017年3月まで)
	2015年4月	産学官連携サテライトオフィス事業委員会委員(2017年3月まで)
	2022年10月	那須塩原市環境審議会会長(現在に至る)
	2022年10月	那須塩原市環境影響評価審議会委員(現在に至る)
	2023年4月	産学官連携サテライトオフィス事業委員会委員(2024年3月まで)
	2023年4月	宇都宮MICEネットワーク委員(2024年3月まで)
	2023年4月	宇都宮市民大学運営協議会委員(2024年8月まで)
	2023年4月	宇都宮イノベーションコンソーシアム委員(現在に至る)
		文部科学省科学研究費
		(1)2003年度~2005年度, 基盤研究(C), 研究分担者(研究代表者: 藪田雅弘), 「地域環境財の保全と地域開発の両立を保障する地域環境政策の検討」(課題番号15510032)
		(2)2006年度~2008年度, 基盤研究(C), 研究分担者(研究代表者: 藪田雅弘), 「エコツーリズムによる環境保全型地域開発の展開可能性に関する研究」(課題番号18510034)

略 歴

	1994年3月	近畿大学法学部法律学科(通信教育部)卒業
	1996年3月	中央大学大学院経済学研究科経済学専攻博士前期課程終了
	2000年3月	中央大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程退学
	2000年4月	那須大学都市経済学部専任講師(2006年3月まで)
	2006年4月	宇都宮共和大学シティライフ学部専任講師(大学名称等変更)(2015年3月まで)
	2015年4月	宇都宮共和大学シティライフ学部准教授(2021年3月まで)
	2021年4月	宇都宮共和大学シティライフ学部教授(現在に至る)

所属学会 日本財政学会

学生・社会へのメッセージ トレードオフや機会費用、サンクコストといった経済学の基本的なアイデアを用いて、身の回りで起きている社会現象を一緒に考えてみましょう。